

2022年度 高洲小PTA 第5回本部役員会 議事録

日時：2022年10月15日（土）10：00～11：00

場所：図工室

○出欠確認

○下條会長

- ・浦安市立小中学校PTA連絡協議会への要望書について
高洲小：校庭のトイレ修理依頼（授業中、地域活動時に使用…健康衛生面考慮し依頼）
市内共通：路面文字の補修依頼（経年劣化により不鮮明になっている）
他校：黙食取りやめを希望。それに伴い、パーテーションパネル設置して欲しい/小中学校の夏休みを併せて欲しい/夏制服時の体操服通学を許可して欲しい 等
- ・9/19(祝)PTA スポーツ大会
男子ソフト3位（1名靱帯損傷の怪我→保険手続き会計にて対応中）

○村上校長

- ・修学旅行は順番を変更しながら、無事全行程を行う事が出来た。
- ・小中音楽会を文化会館で開催(高洲中、高洲北小、高洲小)→ご協力ありがとうございました。
- ・教育委員会見学→お褒めの言葉を頂く。

○渡邊教頭

- ・20周年：11月より記念冊子作製予定(学年毎にテーマを決め、1人ひとこと/クラス集合写真)
2/6 創立記念日に向け、コロナ感染状況も考慮しながらお祝い会も検討中。
- ・マリンヴィラより転入生10名程度予定。

議 案

1. 本部役員報告

① 正副会長

OPTA会則および役員選出方法の一部改訂を検討

理由：家庭数の減少により(数年前26学級→現在15学級)、人数確保が難しくなっている。

免除対象者が増え、役員対象者がわずかとなっているクラスもある。

今後、免除対象者ばかりのクラスが出てくる事も懸念。

1. 役員免除規定の改定

現行：本部役員、学年長、副学年長は永年免除（無期）

改定後：役員任務中に在籍している児童が卒業するまでは免除対象。

任務終了後に入学した児童については、免除対象の児童が卒業するまでは免除対象。

その後は対象外とする。（有期）

※救済措置として22年度までの本部役員経験者(免除対象者)は現行の免除規定を適用とする。

2. 役員人数の変更

本部役員：定員20名とする/現在22名で活動(定員24名)/庶務、会計を定員4名へ変更。

クラス役員：クラス役員を廃止し、専門部員/活動推進部へ変更する。

(青少年補導員・社協推進委員と同格)※よって役員免除対象。

活動内容→ポイント立ち、イベント、安全、卒対(6年)

人数が現在より減ることから全員で協力して活動していく必要あり。

人数→6年卒対各クラス2名(変更せず)

5～1年最小各学年3名/最大各クラス2名

(最大人数については今後の対象者減少の懸念から特例なし)

おおぞら学級：立候補者がいない場合PTAとの諸連絡窓口として連絡員を配置するなど別途相談。(少人数の為)

質問・意見：

- ・会長・副会長は、仕事内容も勘案し引き続き永年免除でいいのではないかと？

永年免除にすることで、立候補者が増えるのではないかと？

→会長としては、皆平等でいいと考えるが、今後検討していく。

- ・クラス役員を廃止し、活動推進部とした場合の決め方はどうなるのか？
→クラスの垣根がなくなるので、本部役員と同時期に決められるといいが
クラスに1人は必要とのことであれば従来通り新クラス保護者会で決める。
新1年生は従来通り4月保護者会にて決定。

今後のスケジュール：次回運営委員会 11/19(土)にて細則改訂についての裁決。

可決となった場合、次年度役員募集の取り纏めを行う。

12月 臨時総会書面開催の案内、議案書を配布。

1月～2月 次期本部役員立候補者募集(or 抽選)

3月中旬決定

4/1 引継

※従来より、役員の人数を減らしたらいいのではないかという意見は寄せられており

今後を見据えて改訂を提案。ただし、改訂後も状況を見ながら柔軟に対応していくことも必要と考える。

② 庶務

- ・2023年度PTA本部役員募集についての確認

※参考 昨年は11/17配布・11/25提出期限

去年度の募集レター（別紙「2022年度PTA役員募集のお知らせ」）

今年度については、役員選出方法の一部改訂に伴い、議決後に「PTA役員募集のお知らせ」を配布予定（12月中目途）

③ 書記広報

- ・高洲PTAだより第2号：9/26(月)配布済

- ・高洲PTAだより第3号：3月初旬配布予定

→掲載内容検討中(9月以降の体験活動、20周年関連、6年生卒業お祝い、本部役員振り返り等)

※取り扱ってほしい内容、アイデアがあればご連絡頂きたい。

④ 会計

- ・9月転入生2名、PTA会費徴収予定。

- ・スポーツ大会での怪我の保険手続きについて保険会社に連絡し対応中。

2. 地域協力活動部報告

① 青少年補導員

② 社協推進委員

3. その他

渡邊教頭：浦安市小中学校教育課程カリキュラム改革についてのヒアリング

- ・家庭での時間が増え、有効に使えた。
- ・小中の夏休み期間の終わりを一緒にして欲しい。
- ・夏休みを中学校と合わせて欲しい。
- ・6時間を増やし、夏休み期間を従来通りに戻してもいい。
- ・帰宅が早くなり、習い事出来たり、子供が色々な事を体験する機会が増えて良かった。
- ・帰宅が早いことで、病院にも通いやすくて良い。
- ・共働き家庭にとっては、夏休みが短縮されるのは有難い。

今後の予定

- ・次回2022年11月19日(土)10:00～ 第6回本部役員会兼第4回運営委員会
(場所：体育館 参加者：本部役員各役職)

以上